

生物多様性の評価結果

※生物多様性及び生態系サービスの総合評価報告書 (JB02) パンフレット (H28.3発行) より抜粋

高度経済成長期やバブル経済期と比べると、開発・改変による圧力は低下していますが、小規模な開発・改変や一部の動植物の捕獲・採取は継続しており、すでに生息地・生育地が縮小している種ではその影響がより大きい可能性があります。自然性の高い森林、農地、湿原、干潟といった生態系の規模が著しく縮小し、人為的に改変されていない植生は国土の約20%に達していません。干潟の面積の約40%が主に高度経済成長期に消滅しました。一方、自然に対する人間の働きかけが縮小することによる影響は、増大する方向で推移しています。近年の耕作放棄地面積は1975年の約3倍です。

外来種の影響も増大する方向で推移しています。生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種として429種が選定されています。特に爬虫類への影響が大きく、爬虫類の絶滅危惧種の減少要因の約70%は外来種です。また、気候変動による生物多様性への影響は、より明確に現れてきています。高山植物とマルハナバチ類のフェノロジー（生物活動周期と季節との関係）の同調性は崩壊しており、沖縄本島周辺のサンゴ被度が2009年に7.5%まで減少したこと、またハイマツが少なくとも過去20年間で約60%も伸長速度を増やしていることが最近の調査・研究で指摘されています。

		損失の要因										
		第1の危機			第2の危機			第3の危機			第4の危機	
		生態系の開発改変	水域の富栄養化	絶滅危惧種の減少要因(第1の危機)	里地里山の管理・利用の縮小	野生動物の直接的利用の減少	絶滅危惧種の減少要因(第2の危機)	外来種の侵入と定着	化学物質による生物への影響	絶滅危惧種の減少要因(第3の危機)	気候変動による生物への影響	絶滅危惧種の減少要因(第4の危機)
影響力の長期的傾向	過去50年～20年の間											
	過去20年～現在の傾向											
影響力の大きさと現在の傾向												

注：表中の語句については以下のとおり。
 ・第1の危機は、開発や乱獲等人が引き起こす負の影響要因による生物多様性への影響である。具体的には開発・改変、直接的利用、水質汚濁による影響を含む。
 ・第2の危機は、第1の危機とは逆に、自然に対する人間の働きかけが縮小撤退することによる影響である。里地里山等の利用・管理の縮小が該当する。
 ・第3の危機は、外来種や化学物質等人間が近代的な生活を送るようになったことにより持ち込まれたものによる危機である。
 ・第4の危機は、気候変動等地球環境の変化による生物多様性への影響である。地球温暖化の他、強い台風の頻度増加や降水量の変化等の気候変動、海洋の一次生産の減少及び酸性化等の地球環境の変化を含む。

	要因			
	評価期間における影響力の大きさ		影響力の長期的傾向及び現在の傾向	
凡例	弱い	○	減少	
	中程度	●	横ばい	
	強い	●	増大	
	非常に強い	●	急速な増大	

注：視覚記号による表記に当たり捨象される要素があることに注意が必要である。
 注：評価の破線表示は情報が十分ではないことを示す。

Shiretoko



Japan
 Inscribed in: 2005
 Criteria: (ix)(x)

Shiretoko Peninsula is located in the north-east of Hokkaido, the northernmost island of Japan. The site includes the land from the central part of the peninsula to its tip (Shiretoko Cape) and the surrounding marine area. It provides an outstanding example of the interaction of marine and terrestrial ecosystems as well as extraordinary ecosystem productivity, largely influenced by the formation of seasonal sea ice at the lowest latitude in the northern hemisphere. It has particular importance for a number of marine and terrestrial species, some of them endangered and endemic, such as Blackiston's fish owl and the *Viola kitamiana* plant. The site is globally important for threatened seabirds and migratory birds, a number of salmonid species, and for marine mammals including Steller's sea lion and some cetacean species.

© UNESCO

